

6月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
05/06/16 (木)	東京はEU首脳会談をにらみつつユーロ圏の調整売りが活発。機械受注の悪さは材料視されず。欧米はおおむね円高。一時大きく進行するも続かなかつた。米長期金利の低下などが円買いを支援。	・4月の機械受注 1.0% ・米上院がバーナンキFRB理事のCEA委員長就任を承認 ・5月の米住宅着工件数200.9万戸、6月のFF連銀景況指数 2.2%	・米財務長官「世界の不均衡を修正するには為替の柔軟性が必要」 ・米クリブランド中銀総裁「米経済のファンダメンタルズは力強い」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/17 (金)	東京はレンジ内で小動き。ただ終盤掛けては米国で地震発生との報道もあり小幅ドル安へ。欧米でユーロが急反発。対ドル、円とも100Pを超える上昇を見せた。テロ懸念の高まりなどがユーロ嗜好強める。	・米ノースカロライナ州でM6.4の地震 ・米国が治安上の理由でナイジェリアの米国大使館を閉鎖 ・第1四半期米経常赤字 1951億ドル、6月のミシガン大インデックス94.8	・アルカイダのサウジがビデオテープで新たなテロを予告 ・独経済労働次官「現在のユーロ相場に不満はない」 ・韓国TV「金総書記が北朝鮮は7月にも6カ国協議復帰可能と発言」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/20 (月)	週末の動向を受けてユーロがキャップを空けていきなりの安寄り。その後も安値圏での一進一退に。欧米はユーロ安というよりドル高。米独金利差拡大思惑などがドル買いを支援。対円でドルは連れ高推移。	・週末のEU首脳会談で英仏が対立、交渉決裂に終わる ・新潟中越地方で震度5弱の地震 ・5月の米景気先行指数 0.5%	・ECB政策担当者「ECBは利下げを視野に入れているが行動は今後の指標次第」 ・LM連銀総裁「緩やかなペースでの利上げ継続へ」 ・パジェットドルは長期的に下落へ	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/21 (火)	東京でユーロは再び弱含み。予想外のスウェーデン利下げを受け、ECBも追随するとの見方広がる。欧米は円が独歩高。人民元切り上げのウサガが円にとっても支援材料に。とくに対ドルで堅調裡。	・スウェーデンが50BPの金融緩和 ・6月の独ZEW期待指数19.5 ・中国が人民元に対してアナウンスするとのウサガ	・谷垣財務相「ASEM財務相会合、当然為替の問題も入ってくる」 ・米財務長官「中国はより柔軟性のある通貨制度に移行すべき」 ・仏中銀総裁「ECBの現在の金利水準は適切」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/22 (水)	東京は一転して調整的な円安進行。発表された貿易黒字の大幅減も嫌気されていた。欧米はポンドとユーロを中心に荒れ模様。欧州絡みの材料多く波乱含みの展開に。円もユーロに連れ乱高下。	・ワシントンDCで爆弾騒ぎ ・5月の貿易黒字2970億円 ・6月の英中銀議事録「7.2で金利据え置き決定」 ・米著名レポートが「ECBは7月にも利下げを検討」との情報送信?	・イツングECB専務理事「ユーロの対ドルの下落は持続すると予想せず」(その後ECBが発言を否定) ・スバイン中銀総裁「ユーロ圏の金融政策は明らかに緩和的」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/23 (木)	東京は夜半に予定されている閣議長と米財務長官の議会証言待ちで動意薄。レンジ内での揉み合いに。欧米はユーロ安。原油高がユーロの支援材料ながらファイバーの発表などもあり需給的にユーロは売られ易い。	・4月の第三次産業活動指数1.8% ・サマワで陸自車両が爆発に遭遇 ・5月の米中古住宅販売713万戸 ・米ファイバー製薬がHIA法に基づく86億ドルのバトリを発表 ・原油価格が一時60ドル台へ	・中国外務省「国家主席はサミットでの人民元協議に意欲的」 ・FRB議長「懲罰的な対中貿易法案は米国に対する報復も招く」 ・米財務長官「中国の為替制度に対する措置に満足していない」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/24 (金)	東京はユーロが一時的に荒れ。対ドルでテクニカルポイントと見られた1.20ドルを一時割り込むも、その後急反発。欧米でユーロは続伸。米株が弱含みに推移したうえ、ECB総裁発言などもユーロ買いを後押しした。	・5月の米耐久財受注5.5%、同新規住宅販売129.8万戸	・谷垣財務相「週末の日中財務相会合で人民元が話題になる可能性は」 ・ECB総裁「利下げを求める政治的な圧力には屈しない」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/27 (月)	東京はユーロ独歩高商状。欧州利下げに否定的なコメントが相次いだうえ時間外の原油高が買い材料に。欧米はユーロの高値圏で揉み合い。原油高が続いているうえ米株がこの日は冴えずドルなどは買い難い。	・週末のイラン選挙で保守強硬派のハマディネジャド氏が圧勝 ・NY原油先物がついに60ドル突破 ・5月の独IFO景況指数93.3	・バラモECB専務理事「ユーロ圏の金利は適切」 ・リクナネンECB政策委員「景気回復予想に変更の必要はない」 ・米財務長官「中国は人民元改革の準備が出来ている」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/28 (火)	東京は一転ドル高。とくに材料はなかったものの、ショートカバーと思しきドル買いがかさむ。欧米タイムにドルは続伸。対円ではついに110円台へと達してきた。ただ材料というより仕掛け的な動き。	・6月の米消費者信頼感指数105.8	・谷垣財務相「人民元、もう少し柔軟性が必要」 ・榊原元財務官「米利上げは3.50%から3.75%で打ち止め」 ・米財務長官「欧州と日本の成長の遅れ、世界の不均衡の一因」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/29 (水)	東京はドルが小高い。鉱工業生産も円売り要因ではあったが、むしろドル買いの勢いに押された。欧米はドル高小休止。色合い的にはユーロ高。ポンド利下げ、原油軟調などの影響は限定的。	・5月の鉱工業生産 2.3% ・「会社法」が衆院本会議で成立 ・ポランドが50BPの大幅利下げ ・第1四半期米GDP確報値3.8%	・仏大統領「G8サミットでユーロドル相場の適切な管理協力を求める」 ・カナダ首相「G8では人民元についての話が行われる」	ドル円	ユーロ円	24H
05/06/30 (木)	東京は小動き。夜半のFOMC待ちといった様相で目立った動意うかがえず。欧米は再びユーロ独歩高。米利上げが実施され、また利上げ継続が期待されたがドル買いに結び付かず。	・6月の独失業率11.7%、同失業者数 2.3万人 ・6月の米個人所得0.2%、同個人消費0.0%、同シカゴPMI指数53.6 ・ノルウェーが25BPの金利引き上げ ・米度が25BPの金利引き上げ	・サマワで再び砲撃、中心部で爆発音 ・FOMC声明「金融政策はなお緩和的」	ドル円	ユーロ円	24H

\* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>